

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	診察学 2
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	東洋療法学校協会指定教科書 臨床医学総論				
担当教員情報					
担当教員	笠井 友和		実務経験の有無・職種	有・鍼灸師	
学習目的					
患者の症状から、患者の病態を推測する方法を学ぶ。治療に必要な病態把握をするためにの知識と技術を学ぶ。また、患者との信頼関係を構築するうえで必要となる医療知識と検査方法を身に付けることを目的とする。					
到達目標					
正しい患者の病態を把握し、適切な治療を行なうための基礎となる診察法及び重要な症状の診察法を学ぶ。「診察」の意義と概要を具体例を示しながら教授する。また、ありふれた症状から頻度は少ないが見逃してはいけない症状などを紹介・解説し自分のものになるよう身に付けさせる。					
教育方法等					
授業概要	診察学の概要の理解から行う。診察に関する手順、ルールは多く存在し、それを理解実践できるように身に付ける。その後、体表から伺える情報を認識・解釈できるよう学んでいく。姿勢や歩行といった日常動作を詳細に観察する意義を理解する。また、皮膚や腹部など、体表から得られる情報の収集の仕方や解釈の仕方を理解する。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合			
	試験・課題	90%	期末試験（筆記試験）		
	小テスト	10%	取得点数が成績に反映される授業内小テスト（筆記試験）		
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	言語、正常運動に必要な神経系構成要素	言語の異常による診察法を理解し身につける 正常運動における神経の解剖学・生理学的知識を復習し、病態の理解に反映出来るようにする			
2回	姿勢	姿勢の異常による診察法を理解し身につける 姿勢に関する国家試験問題過去問を解答し、その対策を身につける			
3回	歩行1	歩行の異常による診察法を理解し身につける			
4回	歩行2、皮膚色調の変化	歩行に関する国家試験問題過去問を解答し、その対策を身につける 皮膚色調の変化による診察法を理解し身につける			
5回	発疹	発疹による診察法を理解し身につける			
6回	浮腫1	浮腫の解剖学・生理学的知識を復習し、病態の理解に反映出来るようにする 局所的浮腫による診察法を理解し身につける			
7回	浮腫2、発汗、体毛、レイノー現象、爪の異常	全身性浮腫、発汗、体毛、レイノー現象、爪の異常による診察法を理解し身につける 爪の異常の症例を確認し、診察の重要性を理解する			
8回	リンパ節、頭部、顔面部	リンパ節、頭部、顔面部の異常による診察法を理解し身につける			
9回	眼1	眼の異常による診察法を理解し身につける			
10回	眼2、鼻、口腔	眼、鼻、口腔の異常による診察法を理解し身につける			
11回	頸部、胸部、乳房、肺・胸膜1	頸部、胸部、乳房、肺・胸膜の異常による診察法を理解し身につける			
12回	肺・胸膜2、心臓、腹部1	肺・胸膜、心臓、腹部の異常による診察法を理解し身につける			
13回	腹部2	腹膜の異常を中心とした診察法を理解し身につける			
14回	腹部3、後期復習	腹部内臓の位置を確認し、それを利用した診察法を理解し身につける 後期の学習内容を確認する			
15回	背部、総合	背部の異常を中心とした診察法を理解し身につける 後期学習内容全般を見直し確認する			